

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和4年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	新座市立野火止公民館及びふるさと新座館ホール			
所在地	新座市野火止6-1-48	所管部署	教育委員会教育総務部	
制度導入年度	平成30年度	選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 / <input checked="" type="checkbox"/> 指名	
指定管理者	名称	株式会社セイウン	所在地	埼玉県さいたま市桜区田島9-31-1
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	野火止公民館・ふるさと新座館ホールを指定管理者として管理運営を行っている。条例に基づいた各室の貸出業務・施設の維持管理業務に加え、野火止公民館では、社会教育施設として講座の企画運営・自習室による市民の自主学習活動のサポート、ふるさと新座館ホールでは、文化振興施設として自主公演等の企画運営を行っている。
特筆事項	<p>※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載</p> <p>① 公民館事業 公民館講座は、過去3年間新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止とすることがありましたが、本年度は感染症への対策を引き続き取り組みながら、年間を通して49種類124回の講座を行い、延べ1,505名の参加をいただいた。引き続き地域性を活かした質の高い講座運営に努め、公的機関からの出張講座、市の歴史・自然を知る講座、大学教授や学芸員による専門知に触れる講座、サークルと連携した講座や新たなサークル活動を育成する講座などを行った。また、開館10周年に当たる本年度は、10周年記念事業として記念誌を作成した。作成にあたっては49の利用団体様より寄稿いただいた。</p> <p>② ホール事業 好評のスタインウェイ演奏体験を継続した他、自主公演を5事業を行い、いずれも好評を得た。自主公演においては、プロとして活動する方々をお招きするのみならず、利用団体が主役となる成果発表会を開催した。コロナ禍において、活動意欲の維持ややりがい、地域交流の機会が大きく損なわれている中で成果発表の場を設けることで利用団体のこれまでの活動の後押しをおこなった。加えて成果発表公演の中で避難訓練も行い、利用団体とともに防災意識の向上を図った。</p>

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	指定管理期間2期目の初年度にあたる本年度は、アフターコロナを見据えたうえでの事業展開を行った。引き続き基本的な感染防止対策や人数制限などは年間を通しておこなったものの公民館事業およびホール事業は当初の計画通り実施した。利用料金収入について、公民館は回復傾向にある一方で、ホールは道半ばである。感染拡大リスクがある中で、人数制限などを設けたホールでの催事が避けられたことが考えられる。また、本年度は光熱費の高騰についても見過ごせない状況にあった。世界情勢の影響により指定管理者がコントロールできない範囲で光熱費が高騰したことにより、運営収支に大きく影響したことから新座市様より支援金をいただいた。令和5年度は4年振りに新型コロナウイルスの制限のない運営となるが、光熱費の高騰など新たな懸念事項もある。これまで培ったさまざまなノウハウを活かし、利用状況の回復に向けた事業展開をしていきたいと考えている。			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	ホール運営については、ホールが地下にあるという特徴から、換気と併せて様々な感染防止対策を設け、感染リスクの軽減に努めた点は評価できる。 全体として、新型コロナウイルス感染症による利用制限を廃止したことから、今後は様々な利用促進策も含め、市民の教育・文化活動の拠点として利用者の増加が見込める特色のある事業展開を期待する。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

<p>評価項目においては、総合評価で引き続き適正との評価をいただいた。一方、項目別評価項目では、1利用サービスの向上における「④地域との協働や連携」、「⑥利用者からの意見・要望・苦情等の把握及び対応、関係者への報告」の2項目がB評価であった。④については、自己でもB評価としているが、施設運営には地域との協働や連携が不可欠という原点に立ち返るとともに、本社も積極的に情報共有し必要な指導・助言を館長を通じて行うことで、利用者サービスの向上に努める。⑥については、新たにホール利用者からのアンケートを開始したが、集計数が極端に少なかったためと考える。ホールロビーにもアンケート箱やご意見箱を常時設置することで、広く意見を集められる取組を行うことで、運営に活かすことへ繋げていきたい。</p>
--

【過年度の評価結果まとめ】 (所管部記入)

評価区分	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
指定管理者の自己評価	A				
市の評価	A				